

成立宗旨

本所以日本文學、語學之研究為重點，兼及中日比較文學、語學、翻譯、日本社會思想、日本教育、日本藝術與文化等，擬培養從人文社會角度深入研究日本之人才。

教育目標為培育具備充分的日語運用能力，且能從日本文化、社會吸取經驗，貢獻於台灣社會之學術、實務人才。

甄試考試：105年9月30日公告簡章

105年10月21日上午10:00至10月27日下午3:00網路報名

系所	日本語文學系碩士班
招生名額	5名
報考資格 附加規定	具備新舊制 N2 (含) 以上日語能力。
系所指定 應繳資料	<p>一、學士班前三學年成績證明正本 1 份及總名次排行表 1 份，轉學生前二學年成績證明正本 1 份及總名次排行表 1 份。總名次排行表須經各校註冊組用印始有效。</p> <p>二、新舊制 N2 (含) 以上日語能力認定書。</p> <p>三、研究計畫 (以中文/日文書寫各一式 5 份。各約 1500 字，須含動機、目的、方法、參考文獻，撰寫格式請於本系網頁「招生資訊」下載)。</p> <p>四、自傳(以中文/日文書寫各一式 5 份，各約 1000 字)。</p> <p>五、其他有助於審查之資料，如日語文相關活動得獎證明等一式 5 份。</p> <p>※口試時間因就學、工作因素居住於國外而需以 Skype 視訊方式進行口試者，須同時檢附國外就讀校系之在學證明或工作證明正本 1 份及個人出入境紀錄影本 1 份。</p> <p>※以上各項資料請獨立裝訂，請勿合併裝訂。</p> <p>※所繳資料將於成績複查截止日後寄回，請附足額郵資及填寫收件人姓名、地址之牛皮紙信封，未附者本系將逕行銷毀。</p>
甄試項目	<p>一、資料審查： 審查所繳資料，審查合格者始得參加口試。105年11月14日於本系網頁「招生資訊」公告審查合格名單、詳細口試時間，請自行上網查詢。</p> <p>二、口試： 口試內容含口語表達能力、進修動機、研究計畫、學術素養。因就學、工作因素居住於國外並附有證明者得以 Skype 視訊口試。</p>
甄試日期 及地點	<p>口試：</p> <p>一、一般口試：105年11月19日。地點：外語學院1樓LA113。</p> <p>二、Skype 視訊口試：105年11月19日。相關規定請參閱本系網頁「招生資訊」。</p>
成績計算 及錄取方式	<p>一、資料審查佔總成績 40%；口試佔總成績 60%。</p> <p>二、按總成績高低依序錄取，得不足額錄取。總成績相同時，依口試、資料審查之次序，成績較高者優先錄取。</p>

※本資訊僅供參考，詳細內容請參閱本校招生資訊網，網址 <http://www.adm.fju.edu.tw>

研究計画 (MS Mincho 14p、真中置き)

(一行開け)

日文テーマ (MS Mincho 14p、真中置き)

(一行開け)

執筆者名 (MS Mincho 12p)

(一行開け)

1、研究動機と目的 (MS Mincho 12p)

(内容)
.....
.....。

(一行開け)

2、先行研究のまとめ (MS Mincho 12p)

(内容)
.....
.....。

(一行開け)

3、研究の範囲と方法 (MS Mincho 12p)

(内容)
.....
.....。

(一行開け)

4、予期される研究成果 (MS Mincho 12p)

(内容)
.....
.....。

参考文献 (MS Mincho 12p)

河野六郎 (1994) 『文字論』三省堂
藤川正数 (1991) 『森鷗外と漢詩』有精堂
——— (1997) 「鷗外の漢学的素養」『講座 森鷗外 第三巻 鷗外の知的空間』平川祐弘・平岡敏夫・竹盛天雄編 新曜社

インターネット資料の場合

福島恵美子 (2007) 「デスマス形と非デスマス形との「混合体」に関する考察—日本人ビジネス関係者の待遇コミュニケーションから」『早稲田大学日本語教育』一号 早稲田大学日本語教育研究科日本語教育センター

<http://dspace.wul.waseda.ac.jp/dspace/handle/2065/26444>

ダウンロード日、2014・10・3

研究計畫 (細明體粗體 14p、置中)

(空一行)

中文題目 (細明體粗體 14p、置中)

(空一行)

姓名 (新細明體 12p)

(空一行)

1.研究動機及目的 (新細明體 12p)

(內容)

.....

.....。

(空一行)

2.先行研究 (新細明體 12p)

(內容)

.....

.....。

(空一行)

3.研究範圍及方法 (新細明體 12p)

(內容)

.....

.....。

(空一行)

4.預期之研究成果 (新細明體 12p)

(內容)

.....

.....。

(空一行)

參考文獻 (新細明體 12p)

河野六郎 (1994) 『文字論』 三省堂

藤川正數 (1991) 『森鷗外と漢詩』 有精堂

——— (1997) 「鷗外の漢学的素養」 『講座 森鷗外 第三卷 鷗外の知的
空

間』 平川祐弘・平岡敏夫・竹盛天雄編 新曜社

網路資料：

福島恵美子 (2007) 「デスマス形と非デスマス形との「混合体」に関する考察
—日本人ビジネス関係者の待遇コミュニケーションから」 『早稲田大学日
本語教育』 一号 早稲田大学日本語教育研究科日本語教育センター

<http://dspace.wul.waseda.ac.jp/dspace/handle/2065/26444> ダウンロード
日、
2014・10・3